

いわき凧揚げ大会(いわき市四倉地区海岸)



浜通り地方の 復旧・復興の取組

一歩ずつ未来へつなぐ

相馬復興サイクリング大会(相馬市)



釣師防災緑地公園(新地町)



ふくしまからはじめよう。

2020年度版
福島県土木部



学生によるフラダンス披露(いわき市薄磯地区海岸)

目次

東日本大震災の被害状況と完了見通し

避難指示区域の推移	P. 2
東日本大震災の被害	P. 3
東日本大震災で被災した公共土木施設等の復旧	P. 4
津波被災地における復旧・復興事業の完了見通し	P. 5~6

避難されている方々の住宅対策

復興公営住宅による安心・安全なまちづくり	P.7~9
住宅の復興支援によるくらしの基盤づくり	P.10

津波被災地の復興まちづくり

総合的な防災力の高い復興まちづくり	P.11~12		
新地町(新地駅周辺)	P.13~14	相馬市(原釜・尾浜地区)	P.15~16
南相馬市	P.17~18	浪江町	P.19~20
双葉町	P.21~22	大熊町	P.23~24
トピックス(大熊ICと常磐双葉ICの開通、復興シンボル軸の整備)	P.25~26		
富岡町	P.27~28	楢葉町	P.29~30
広野町	P.31~32	いわき市(久之浜地区)	P.33
いわき市(四倉地区)	P.34	いわき市(沼ノ内地区)	P.35
いわき市(薄磯地区)	P.36	いわき市(豊間地区)	P.37
いわき市(永崎地区)	P.38	いわき市(岩間地区)	P.38

復興を支える道路や物流基盤の整備

本県の復興に向けたふくしま復興再生道路の整備	P.39~42
トピックス(相馬福島道路、常磐道4車線化、追加IC等の整備)	P.43~44
港湾整備による地域産業の復興と国際物流の支援	P.45~46
漁港整備による水産業の復興支援	P.47~48

震災の記憶と教訓の伝承

復興祈念公園の整備	P.49
震災伝承の取組	P.50

住民帰還への取組

特定復興再生拠点区域	P.51~53
帰還困難区域の一部先行解除	P.54
特定復興再生拠点区域の主な事業箇所	P.55

産業・雇用の創出

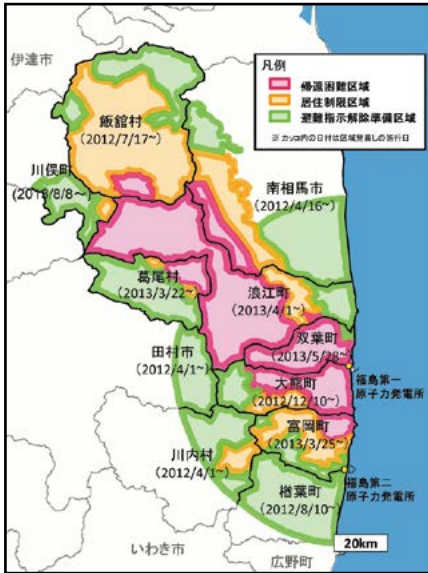
福島イノベーション・コースト構想	P.56
------------------	------

東京オリンピック・パラリンピック関連

トピックス(県営あづま球場改修工事)	P.57
--------------------	------

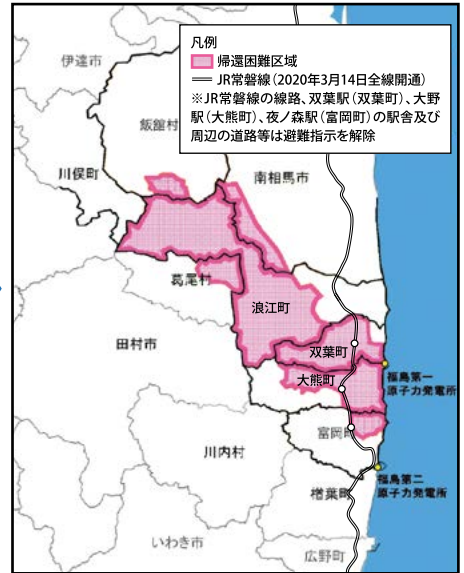
避難指示区域の推移

平成25年8月8日



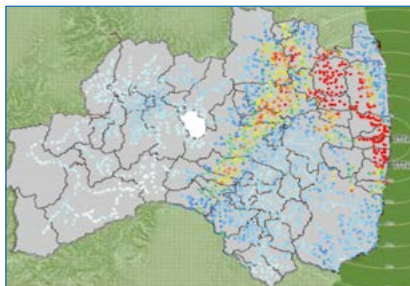
出典:経済産業省ホームページ

令和2年3月10日

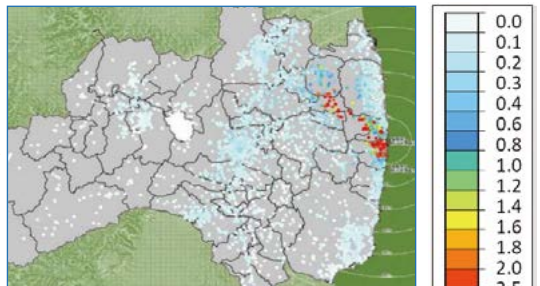


福島県内の空間放射線量の推移

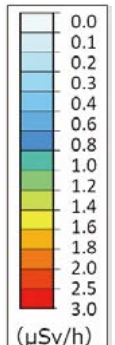
◆福島県環境放射線モニタリング・メッシュ調査結果等に基づく福島県全の空間線量率マップ



平成23年4月



平成31年4月



引用:復興・再生のあゆみ

【復興の理念】

1. 復旧・復興を成し遂げること、それが私たちの「使命」
2. 山積する課題に立ち向かうこと、それが私たちの「挑戦」
3. 子供たちの未来を切り拓くこと、それが私たちの「責任」
4. ふくしま復興の軌跡を残すこと、それが私たちの「誇り」

東日本大震災の被害状況と完了見通し

東日本大震災の被害

被害の概要

最大震度 **震度6強** (平成23年3月11日)

県全体の被害総額 **9,826** 億円 (平成24年11月30日発表)

■福島県災害対策本部 (令和2年3月5日発表)

死者 **4,134**人 行方不明者 **1**人

(全壊)15,435棟 (半壊)82,783棟 (一部損壊)141,053棟

避難者 **40,335**人

(県内等)9,421人 (県外)30,914人

■福島県内の公共土木施設等 (平成23年4月27日発表)

公共土木施設等被害箇所 **4,949**箇所 (県:1,790箇所、市町村:3,159箇所)

公共土木施設等被害額 **3,162**億円 (県:2,598億円、市町村:564億円)

災害に伴う通行止め **108**路線 **169**箇所 (県管理道路のみ)

※令和2年3月5日現在

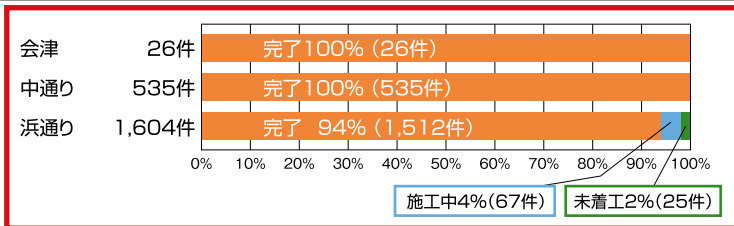
(3路線 3箇所)

東日本大震災で被災した公共土木施設等の復旧

※県管理施設のみ

(令和2年2月末現在)

公共土木施設等 災害復旧工事箇所	査定決定数 (箇所数)	着工件数		完了件数		完了 見通し <small>※帰還困難区 域を除く</small>
		着工率 (%)	完了率 (%)			
計	2,165	2,140	98%	2,073	95%	
河川・砂防	289	280	96%	261	90%	R2年度
海岸	161	159	98%	143	88%	R2年度
道路・橋梁	817	810	99%	798	97%	R2年度
港湾	331	331	100%	331	100%	完了
漁港	470	463	98%	443	94%	R2年度
下水	3	3	100%	3	100%	完了
公園・都市施設	5	5	100%	5	100%	完了
公営住宅	89	89	100%	89	100%	完了



【参考】避難指示区域内の進捗状況

避難指示解除準備区域及び居住制限区域等は、既に災害査定が終了しています。

※避難指示を解除した田村市、南相馬市、葛尾村、川内村、楡葉町、浪江町、川俣町、飯館村、富岡町、大熊町、双葉町の区域を含む。

査定決定数 (箇所数)	着工件数		完了件数	
	着工率	完了率		
379	354	93%	291	76%

内83箇所は帰還困難区域

査定決定数 (箇所数)	着工件数		完了件数	
	着工率	完了率		
83	69	83%	48	57%

津波被災地における 復旧・復興事業の 完了見通し

趣旨

○津波被災地(帰還困難区域を除く)の復旧・復興事業について、復興・創生期間の最終年度である令和2年度までに概ね完了の予定です。

1 各事業の完了見通し

※令和2年2月10日公表(()内はH31.2.8公表数値)

対象施設	事業内容	完了年度	事業箇所	事業進捗見通し(箇所・地区・工区数[累計])			
				H29迄	H30迄	R1(H31)迄	R2迄
①河川	被災した河川の堤防を復旧または新たに築造・かさ上げする	(R2) R2	(31) 31	(18) 18	(24) 24	(26) 25	(31) 31
②海岸	被災した海岸の堤防を復旧または新たに築造・かさ上げ及び消波堤や離岸堤等の復旧をする	(R2) R2	(86) 86	(60) 60	(78) 78	(83) 83	(86) 86
③排水機場	被災した排水機場を復旧する。(海岸堤防に隣接し湛水被害を防止するポンプ場や樋門などの復旧)	(R2) R2	(38) 38	(29) 29	(35) 35	(37) 37	(38) 38
④港湾・漁港	被災した港湾及び漁港の防波堤や岸壁等の施設を復旧する	(R2) R2	(15) 15	(10) 10	(14) 14	(14) 14	(15) 15
⑤道路	被災した道路を原形に復旧する	(R2) R2	(304) 304	(299) 299	(300) 300	(300) 300	(304) 304
⑥津波被災地道路	津波の襲来前に内陸部や高台に速やかに避難するための道路(バイパス・拡幅)を整備する	(R2) R2	(21) 21	(14) 14	(18) 18	(20) 19	(21) 21
⑦防災緑地	津波を軽減し、市街地を守るために新たに植樹や盛土を築造する	(R1) R2	(10) 10	(3) 3	(8) 8	(10) 9	(10) 10
⑧海岸防災林	津波や飛砂、強風等から農地を守る防災林を新たに築造する	(R3以降) R3以降	(9) 9	(1) 1	(1) 1	(3) 1	(8) 8
⑨治山施設	被災した治山施設(防潮堤、護岸工、盛土)を復旧する	(R1) R2	(10) 10	(7) 7	(9) 9	(10) 9	(10) 10
全体			(524) 524	(441) 441 (84%) 84%	(487) 487 (93%) 93%	(503) 497 (96%) 95%	(523) 523 (99%) 99%

※津波による被災を受けた、浜通り沿岸部の9市町村(新地町、相馬市、南相馬市、浪江町、双葉町、富岡町、楢葉町、広野町、いわき市)内の事業。
 ※帰還困難区域、および内陸部の事業を除く。(帰還困難区域内について新たに災害査定を受けているが、完了見通しについては、他機関との調整等に影響されるため、本表から除外している)

2 今後の進捗見通し(概況)

- 令和元年度完了を予定していた6箇所において、台風第19号等の影響により完了が令和2年度になる見込みですが、今後、工程回復に努め、令和2年度前半には完了を図る予定です。

【市町村別の進捗見通し】

- R1で全事業完了予定:いわき市
- R2で全事業完了予定:新地町、相馬市、南相馬市、双葉町、富岡町、楡葉町

【年度別の進捗見通し】

- 令和2年度
 - 河川(31箇所)、海岸(86箇所)、漁港・港湾(15箇所)が全て完了予定。
 - 道路(304箇所)が全て完了予定。
 - 津波被災地道路(21箇所)が全て完了予定。
 - 排水機場(38箇所)が全て完了予定。

新地町の釣師浜海水浴場が、令和元年7月20日に9年ぶりに再開しました。



富岡漁港では8年4ヶ月ぶりに漁船が帰港しました。富岡漁港への漁船の帰港により被災した福島県内の10漁港すべてに漁船が戻りました。



令和元年7月26日開催「富岡漁港漁船帰港式」

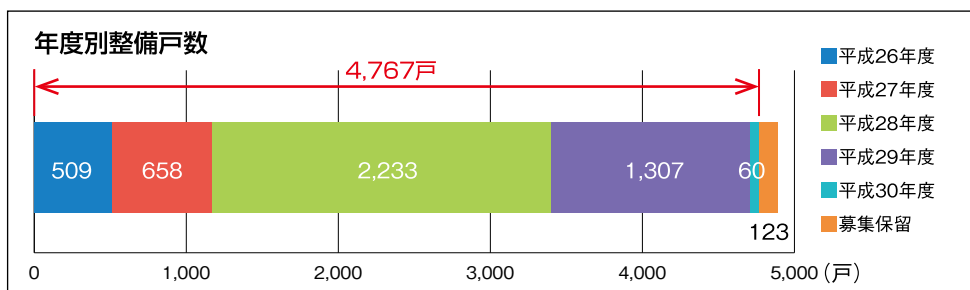
復興公営住宅による 安心・安全なまちづくり

【原発避難者向け復興公営住宅】(R元年度末時点)

- ・計画4,890戸のうち4,767戸(97%)が完成しました。

【帰還者、新規転入者向け住宅】

- ・大熊町からの要請を受け、大川原地区に町営の帰還者向け住宅(92戸)、転入者向け住宅(40戸)を、県が代行で整備しました。
- ・双葉町からの要請を受け、双葉駅西側地区に町営の帰還者向け戸建住宅(32戸)、帰還者や就業者向けの集合住宅(56戸)を、県が代行で整備しています。

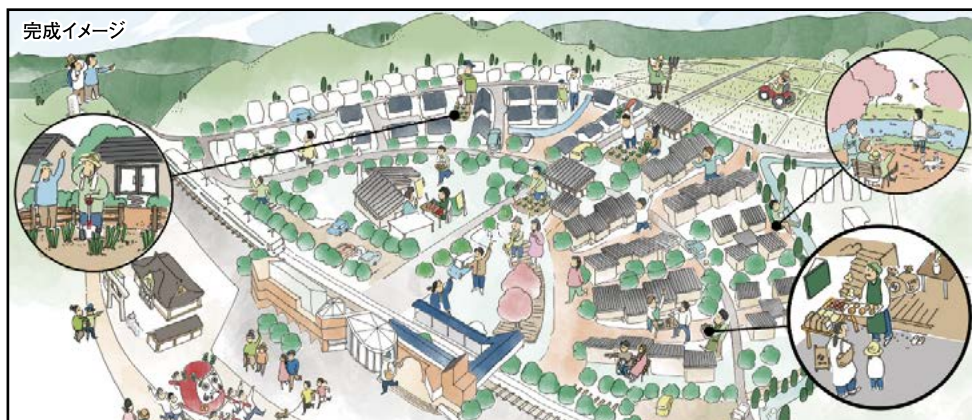


完成した復興公営住宅(県営)



ふるさと帰還に向けた住宅対策(双葉駅西側地区(県代行事業))

双葉駅西側及び東口駅前広場 ランドスケープマスタープラン



住宅の復興支援による くらしの基盤づくり

空き家・ふるさと復興支援事業

空き家を活用した住宅再建を支援します

被災者や避難者の住宅再建を推進し、地域の活性化や復興を図るため、空き家の改修等に要する経費の一部を補助します。

ふるさと帰還に向けた住宅調査支援事業

避難指示を受けた市町村が行う住宅状況調査を支援します

避難者の住宅再建・帰還を促進し、まちの活気を呼び戻すため、避難指示を受けた市町村が行う住まいの状況調査に補助します。

多世代同居・近居推進事業

子育て環境の充実等を図るため、多世代が同居・近居するための住まいづくりを支援します

親世帯と子ども世帯が同居・近居するための新築・中古住宅の取得、二世帯住宅へのリフォーム工事に要する経費の一部を補助します。

ふくしまの未来を育む森と住まいのポイント事業

県産木材を活用した住まいづくりを支援します

県産木材を活用した住宅に県産品と交換可能なポイントを交付します。

【交付ポイント】

一般：20万円相当

被災者等：30万円相当

※森林認証材使用：10万円相当加算



詳しくは **福島県建築指導課** で検索してください。

総合的な防災力の高い 復興まちづくり

最大9.3m以上の津波が発生し、沿岸部の
112km²が浸水被害

主な実施箇所



津波による住家被災状況(新地町)



津波による住宅被災状況
(浪江町請戸漁港付近)



津波による海岸線の被災状況(いわき市)



復興まちづくりの進め方

津波による浸水被害を受けた地域で、総合的な防災力の高いまちづくりを目指します。

○復興まちづくりのイメージ



海岸堤防の高上げ、防災緑地、道路、土地利用の再編など複数の手法を組合わせた「多重防御」と、避難路の確保や情報伝達手段の拡充などによる、ソフト・ハード両面からの総合的な防災力向上を目指します。

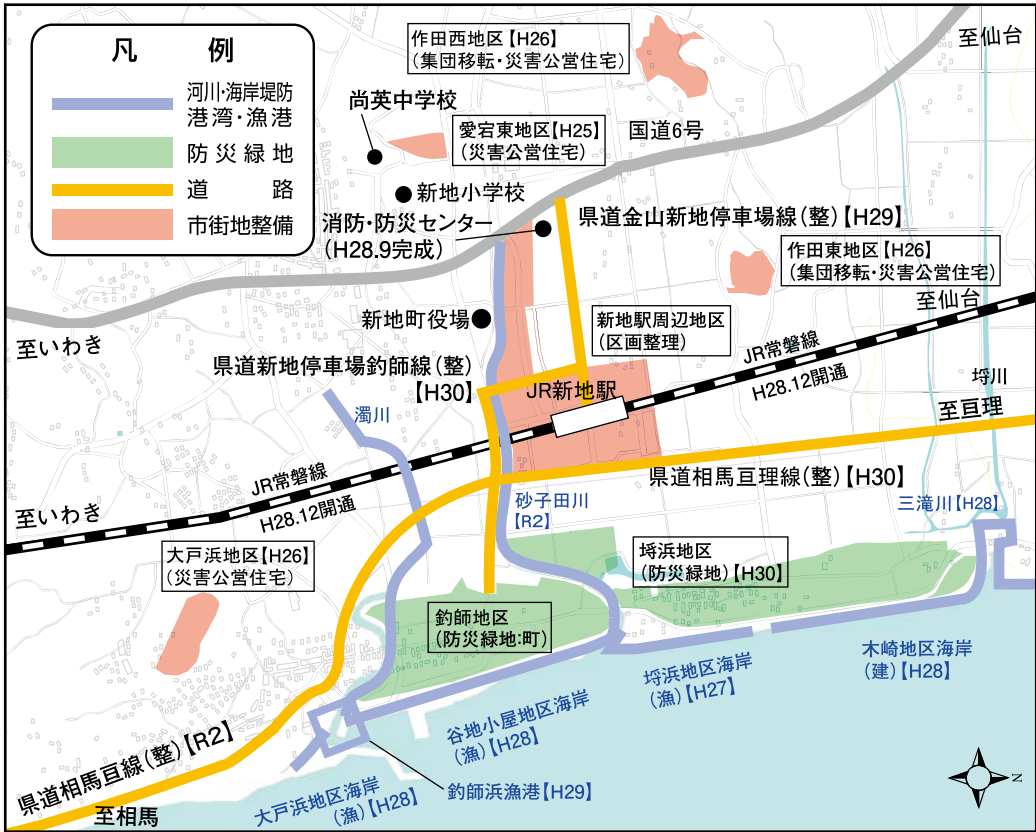
久之浜地区(いわき市)における復興まちづくり



しん ち まち しん ち えき しゅう へん
新地町 新地駅周辺

復興まちづくりの基本的視点

- ① 命と暮らし最優先のまち
- ② 人と絆を育むまち
- ③ 自然と共生する海のあるまち



各地区共通 ※市街地整備には、区画整理、集団移転、公営住宅などを含みます。
 ※各工区の末尾の【 】内の数字は、完了予定年度を表しています。
 ※各工区の後ろの、(整)は津波被災地道路のバイパス・拡幅、(災)は道路災害復旧、(建)は建設海岸、(農)は農地海岸、(港)は港湾海岸、(漁)は漁湾海岸、(海林)は海岸防災林、(治災)は治山施設災害復旧を表しています。

被災時の状況 谷地小屋地区海岸



遊海しんち2019 令和元年8月3日開催



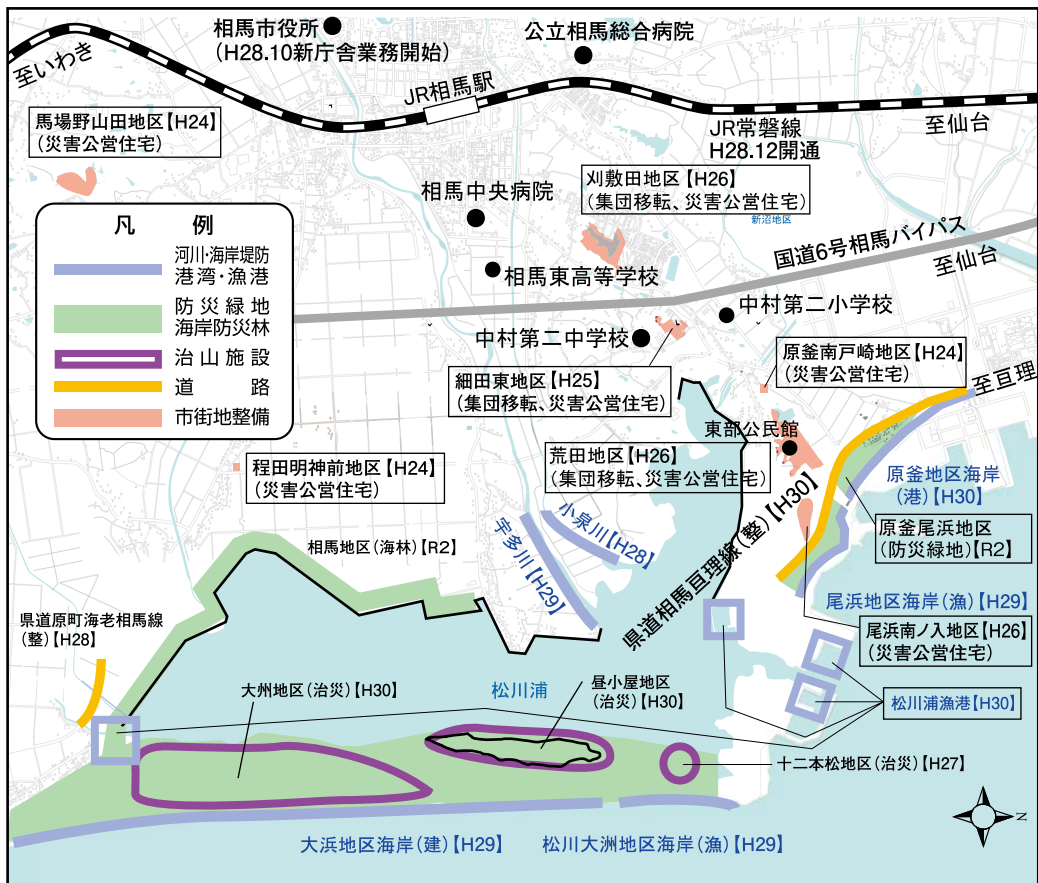
復旧・復興工事の状況(新地駅周辺地区)



はら がま お ばま
 そう ま し
相馬市 原釜・尾浜地区

復興まちづくりの基本的視点

- ① 観光産業に配慮したまちづくり
- ② 新たな地域社会の再構築
- ③ 新たな災害から人命や財産を守る



被災時の状況 原釜・尾浜地区



第2回相馬復興サイクリング大会 令和元年5月26日開催



復旧・復興工事の状況（原釜・尾浜地区）



津波被災地の復興まちづくり

みなみ そう ま し

南相馬市



復興まちづくりの基本的視点

- ①地域の絆で結ばれたまちの再生
- ②創造と活力ある経済復興
- ③安全・安心のまちづくり



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイトル)を複製したものである。(承認番号 平30東複、第65号)

被災時の状況 小沢地区海岸



福島ロボットテストフィールド 整備状況



復旧・復興工事の状況 (小高地区海岸)



復旧・復興工事の状況(請戸川)



復旧・復興工事の状況(請戸地区海岸)



復旧・復興工事の状況(双葉中浜地区海岸)



復旧・復興工事の状況(前田川)



大川原地区 復興拠点 工事状況

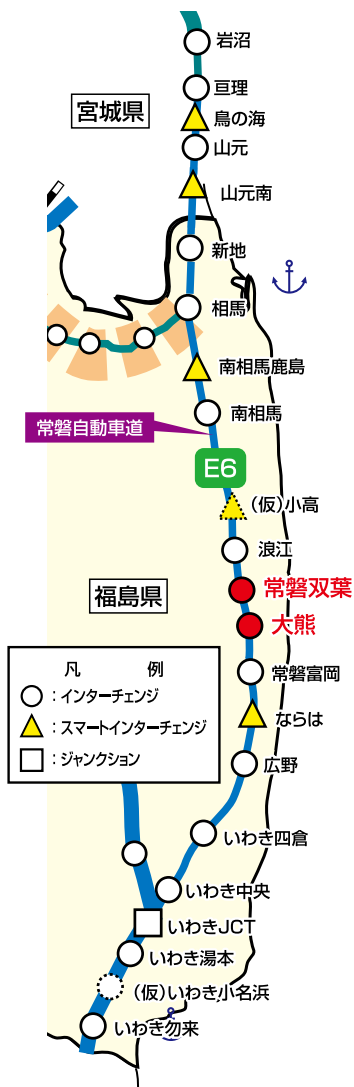


災害復旧工事 小良ヶ浜野上線(新町1号工区)



大熊ICと常磐双葉ICの開通について

常磐自動車道の大熊ICと常磐双葉ICは、追加ICとして、①復興への支援、②緊急時における避難路の確保、③除染・中間貯蔵施設事業の加速、④福島第一原発事故に伴う廃炉作業の進展、⑤消防・救急等に係る緊急車両による広域活動迅速性の確保が期待されています。



常磐双葉IC 令和2年3月7日開通



大熊IC 平成31年3月31日開通

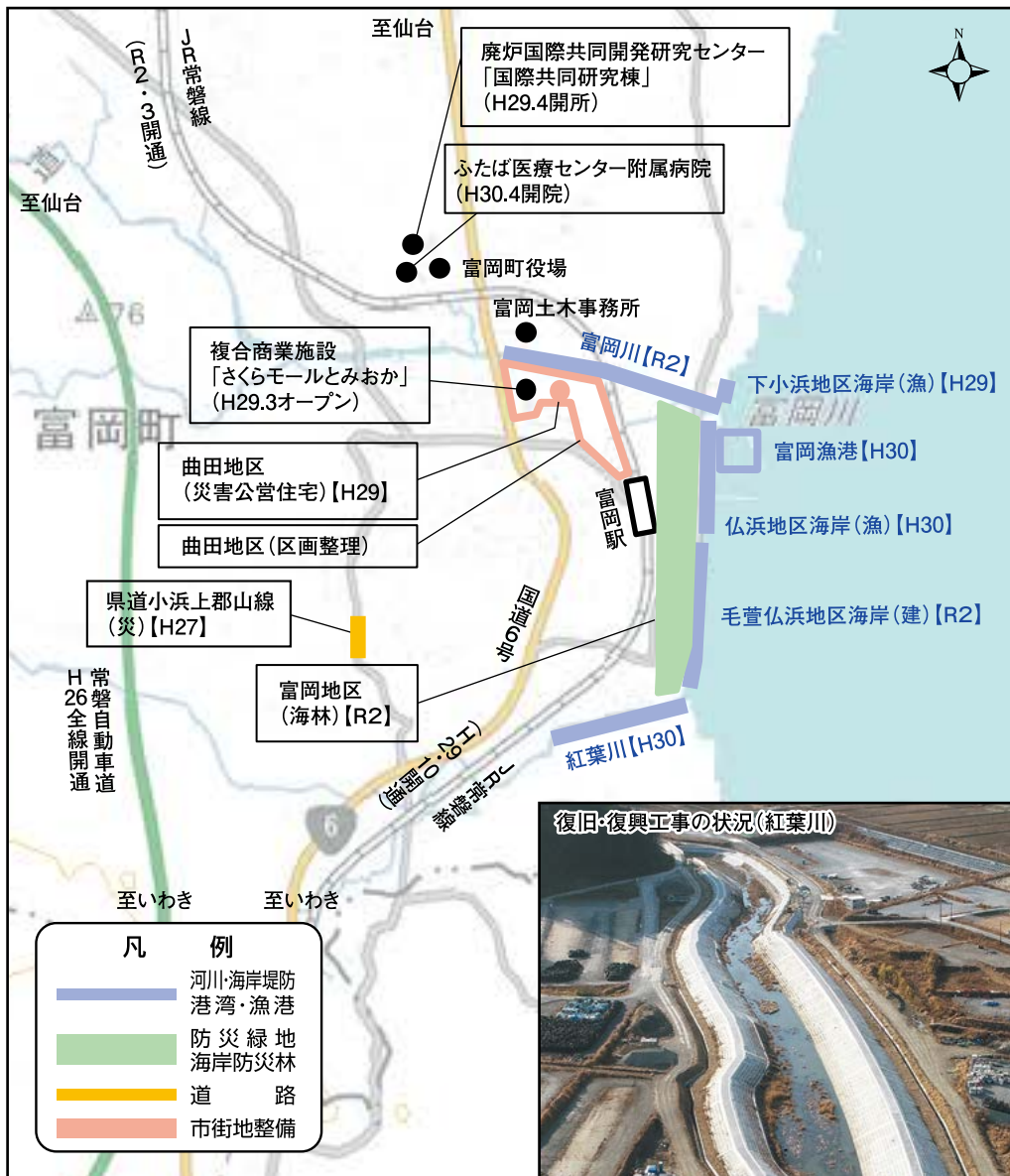
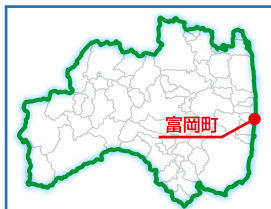
津波被災地の復興まちづくり

とみおかまち

富岡町

災害復興計画(第二次)の基本理念

- ・町民一人ひとりの“心”の復興
- ・町民の心をつなぐ“ふるさと富岡”の復興



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。(承認番号 平27情復、第1428号)

堤防工事着手前状況 富岡川



小学生の建設現場見学会 令和元年8月30日開催



復旧・復興工事の状況(富岡川)



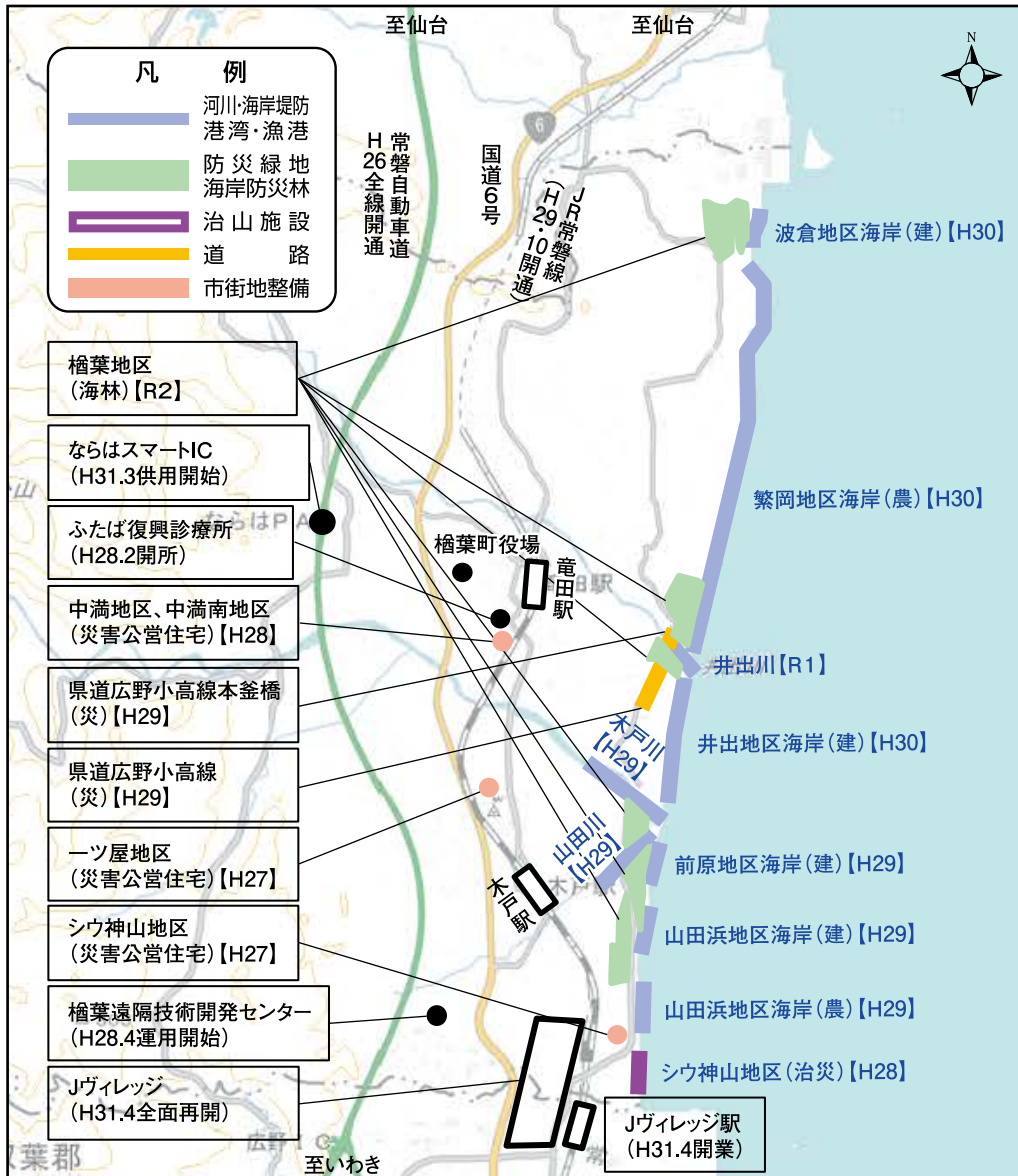
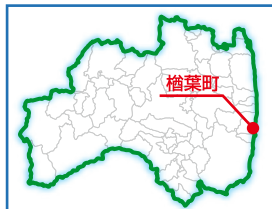
津波被災地の復興まちづくり

な ら は ま ち

檜葉町

復興計画(第二次)の基本理念

- ・安全・安心な生活の再建
- ・町民の主体的参画と自立
- ・次世代への継承
- ・広い視野に立つ復興



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。(承認番号 平27情復、第1428号)

復旧・復興工事の状況（前原地区海岸・山田川・木戸川）



復旧・復興工事の状況（井出地区海岸・井出川）



津波被災地の復興まちづくり

ひろのまち

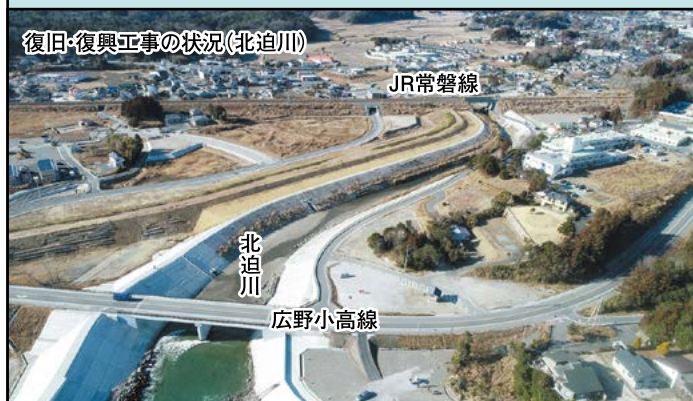
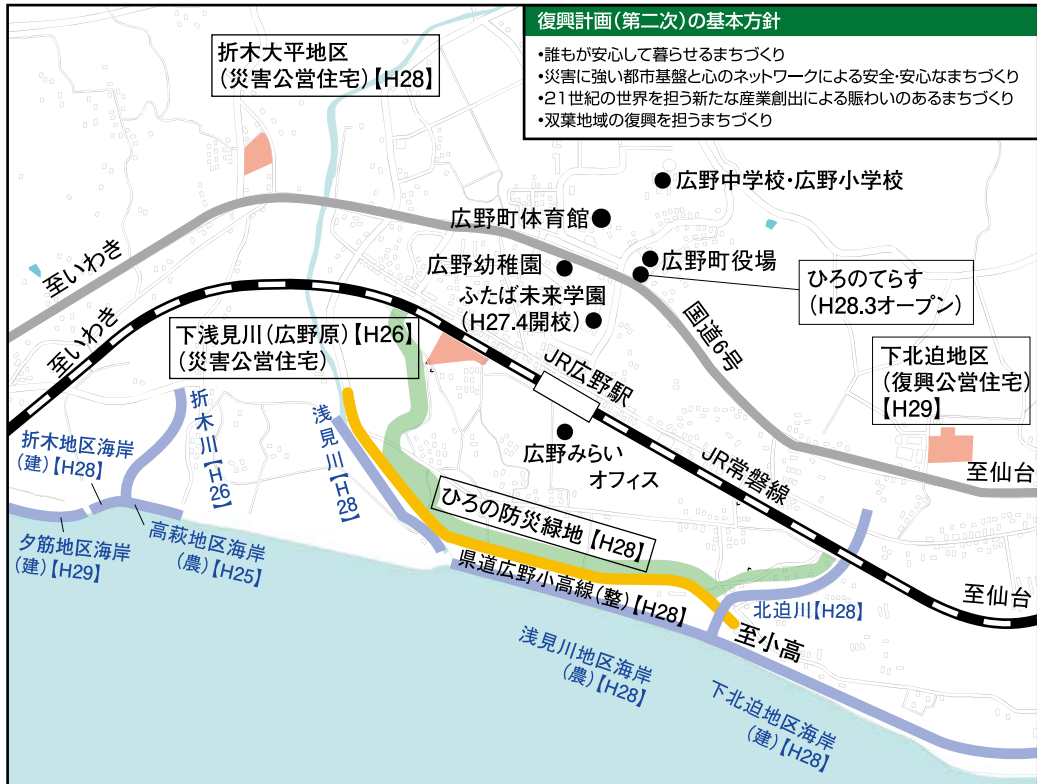
広野町



復旧・復興事業完了

復興計画(第二次)の基本方針

- 誰もが安心して暮らせるまちづくり
- 災害に強い都市基盤と心のネットワークによる安全・安心なまちづくり
- 21世紀の世界を担う新たな産業創出による賑わいのあるまちづくり
- 双葉地域の復興を担うまちづくり



凡 例	
	河川・海岸堤防 港湾・漁港
	防災緑地
	道 路
	市街地整備



被災時の状況 浅見川地区



ひろの防災緑地サポーターズ クラブによる花壇整備



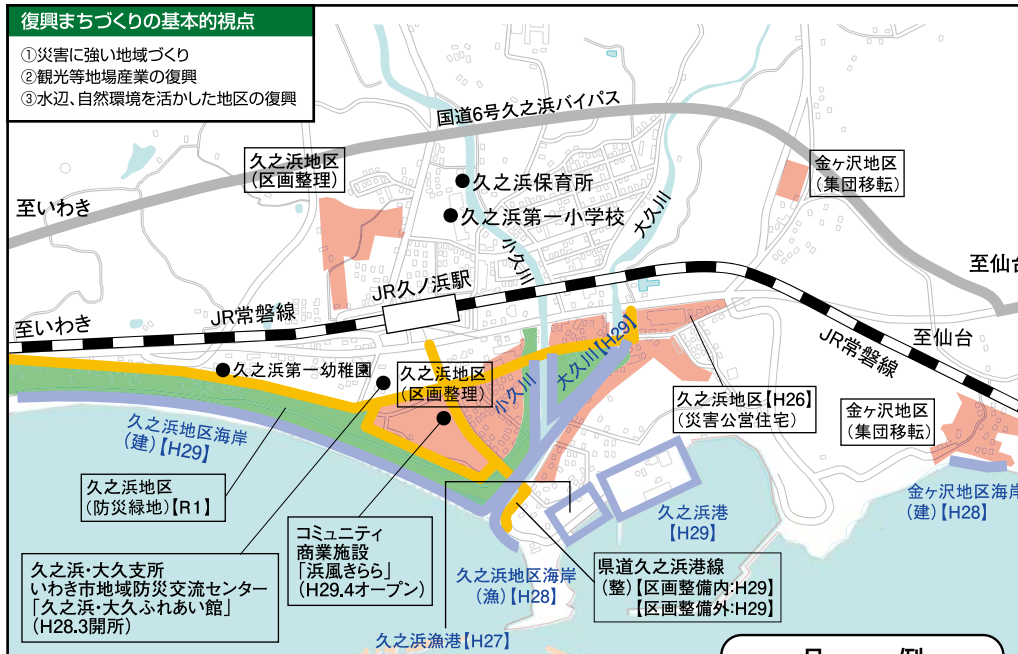
復旧・復興工事の状況(浅見川地区)



ひさの はま いわき市 久之浜地区



- 復興まちづくりの基本的視点**
- ① 災害に強い地域づくり
 - ② 観光等地域産業の復興
 - ③ 水辺、自然環境を活かした地区の復興



凡例

- 河川海岸堤防 港湾・漁港
- 防災緑地
- 道路
- 市街地整備

いわき市 四倉地区

復旧・復興工事の状況(四倉地区)







復旧・復興事業完了

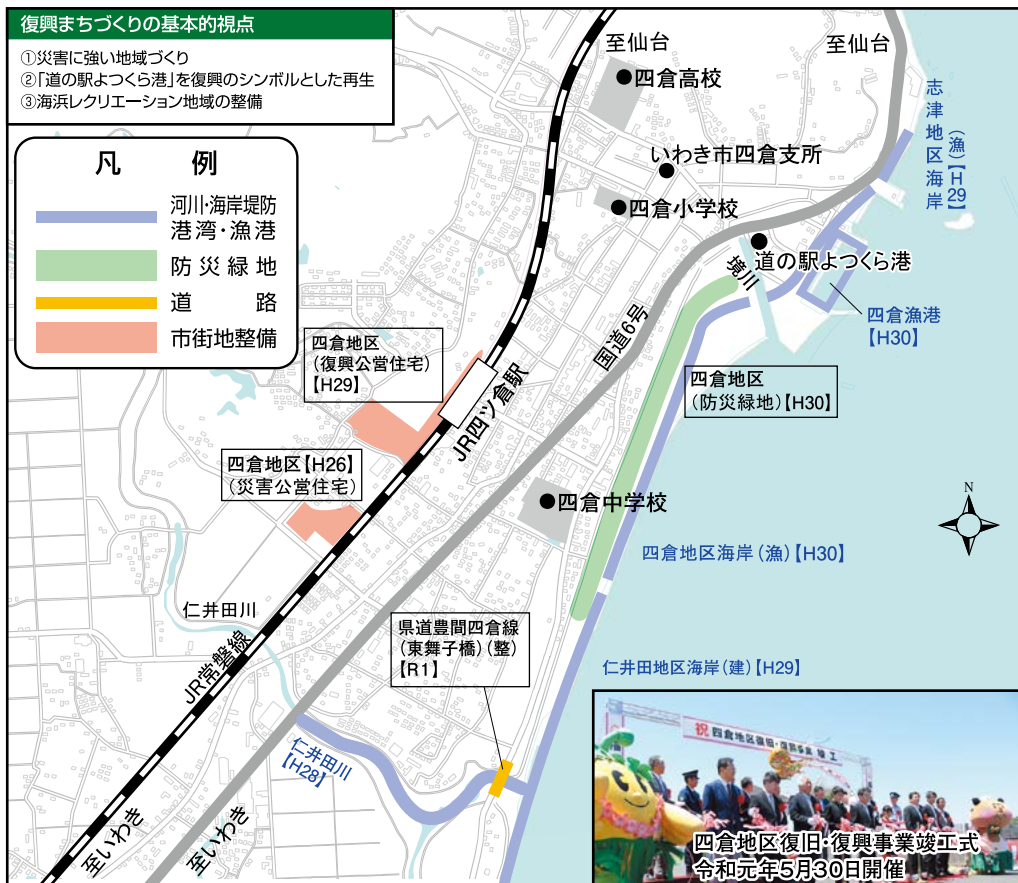


復興まちづくりの基本的視点

- ①災害に強い地域づくり
- ②「道の駅よつくら港」を復興のシンボルとした再生
- ③海浜レクリエーション地域の整備

凡 例

-  河川・海岸堤防
港湾・漁港
-  防災緑地
-  道 路
-  市街地整備



ぬまの うち
いわき市 沼ノ内地区



- 復興まちづくりの基本的視点
- ①市街地の安全性の向上
 - ②観光振興、生活利便性の向上
 - ③災害に強い市街地の形成



うす いそ

いわき市 薄磯地区

復旧・復興工事の状況(薄磯地区)



復旧・復興事業完了



被災時の状況(薄磯地区海岸)



復興まちづくりの基本的視点

- ① 快適な市街地の再生
- ② 観光振興、生活利便性の向上
- ③ 災害に強い市街地の形成



とよま いわき市 豊間地区

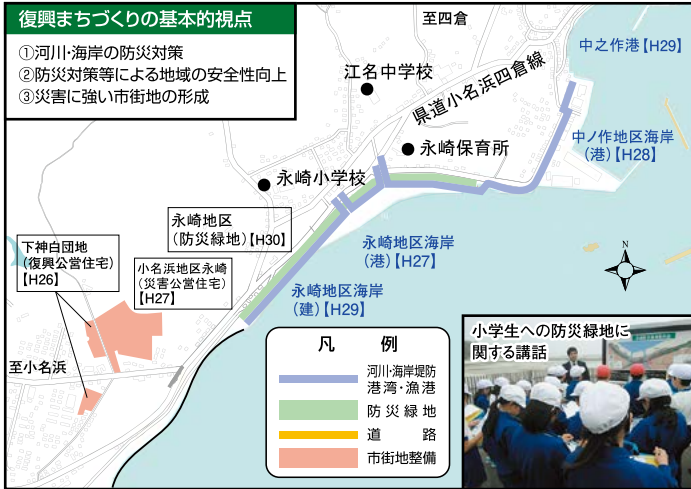


なが さき

いわき市 永崎地区

復興まちづくりの基本的視点

- ① 河川・海岸の防災対策
- ② 防災対策等による地域の安全性向上
- ③ 災害に強い市街地の形成



復旧・復興事業完了



復旧・復興工事の状況 (永崎地区)



いわ ま

いわき市 岩間地区



復旧・復興事業完了



復旧・復興工事の状況 (岩間地区)



本県の復興に向けた ふくしま復興再生道路の整備

目標

「ふくしま復興再生道路(8路線、29工区)」は、令和元年度までに12工区が供用し、残工区についても、2020年代初頭までの供用を目指し、整備を進めます。

復興整備の進捗(令和2年3月31日現在)

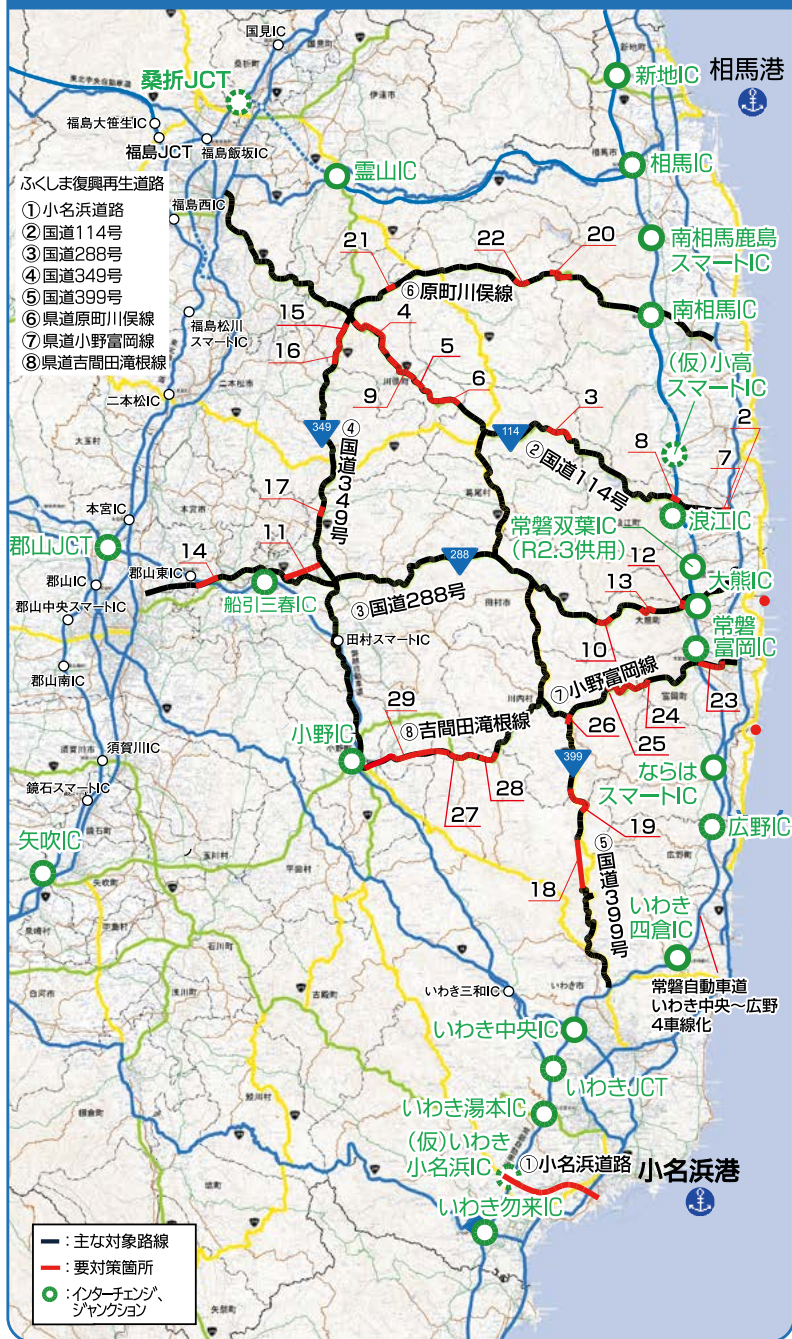
項目	箇所数	工事進捗率	
		調査設計	2箇所 7%
工区	29箇所	工事中	15箇所 52%
		供用	12箇所 41%

「ふくしま復興再生道路」整備箇所一覧

箇所番号	路線名	市町村名	工区名	調査設計	工事中	供用
1	①小名浜道路	いわき市	小名浜道路		○	
2	②国道114号	浪江町	浪江拡幅2		○	
3			櫛平		○	
4		川俣町	山木屋1		○	
5			山木屋2		○	
6			山木屋3		○	
7		浪江町	浪江拡幅1			○
8			室原拡幅			○
9	川俣町	小綱木バイパス			○	
10	③国道288号	大熊町	野上小塚		○	
11			田村市	船引バイパス		○
12		大熊町	野上山神			○
13			玉ノ湯			○
14	田村市	三春西バイパス			○	
15	④国道349号	川俣町	大綱木2		○	
16			大綱木1		○	
17	田村市	新館		○		
18	⑤国道399号	いわき市	十文字		○	
19		川内村	戸渡			○
20	⑥原町川俣線	南相馬市	八木沢			○
21		飯館村	八木沢			○
22		川俣町	水境			○
23	⑦小野富岡線	飯館村	芦原			○
24			富岡町	高津戸	○	
25		富岡町	五枚沢2	○		
26		川内村	五枚沢1			○
27		川内村	西ノ内		○	
28	⑧吉間田滝根線	いわき市	小白井		○	
29			吉間田			○
		田村市	広瀬		○	
		小野町				

供用とは、一般交通の用に供すること。

「ふくしま復興再生道路」整備箇所



JR常磐線

新地
 駒ヶ嶺
 相馬
 日立木
 鹿島
 原ノ岡
 磐城太田
 小高
 桃内
 浪江

運転再開済

令和2年3月14日再開

双葉
 大野
 夜ノ森
 富岡
 竜田
 木戸
 がらぎ
 広野

運転再開済

未統
 久ノ浜
 四ツ倉
 草野
 いわき
 内郷
 湯本
 泉
 植田
 勿来

復興を支える道路や物流基盤の整備

ふくしま復興再生道路の完成箇所(R元年度)

国道399号 戸渡2工区(いわき市、川内村) 令和元年7月5日開通



ふくしま復興再生道路の施工箇所

県道吉間田滝根線 広瀬工区(田村市、小野町) 計画道路延長9.2km



小名浜道路(いわき市) 計画道路延長8.3km



ふくしま復興再生道路の完成箇所(H30年度まで)

県道小野富岡線五枚沢1工区(川内村)
平成30年9月28日開通



県道原町川俣線八木沢トンネル(南相馬市、飯舘村)
平成30年3月18日開通



県道原町川俣線芦原工区(飯舘村)
平成28年10月25日開通



国道288号野上山神工区(大熊町)
平成28年3月29日開通



国道114号浪江拡幅1工区(浪江町)
平成27年9月29日開通



国道114号小綱木バイパス(川俣町)
平成27年6月28日開通



相馬福島道路が令和2年度に全線開通予定

相馬福島道路は、常磐自動車道と東北縦貫自動車道を結ぶ約45kmの高規格幹線道路（自動車専用道路）で、東日本大震災からの早期復興を図るリーディングプロジェクトとして位置づけられています。令和元年12月22日に「相馬IC～相馬山上IC」間の6kmが開通し、全体の7割にあたる計33.5kmが無料で通行できます。残る「霊山IC～桑折JCT」間についても、令和2年度の開通に向け整備中です。

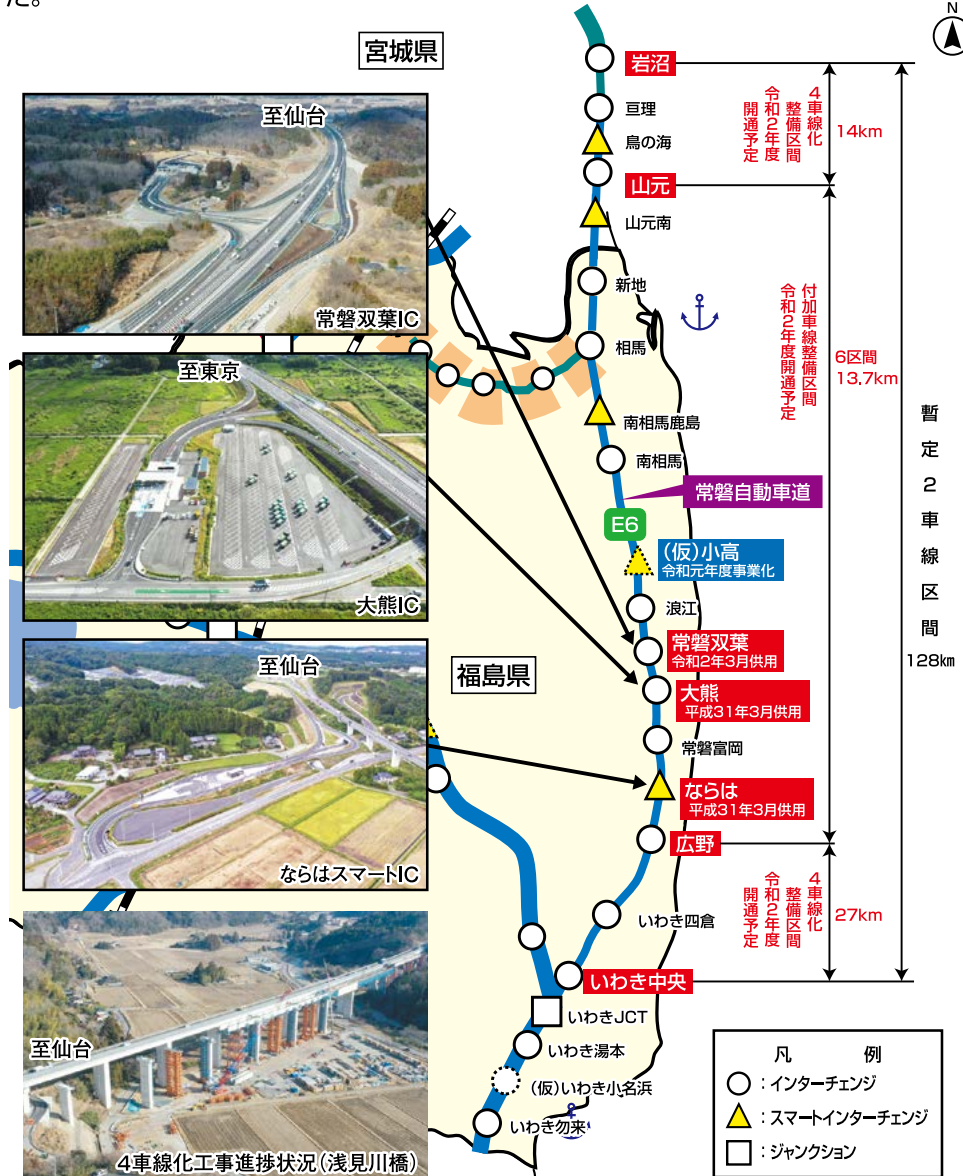


相馬福島道路は無料で通行できます

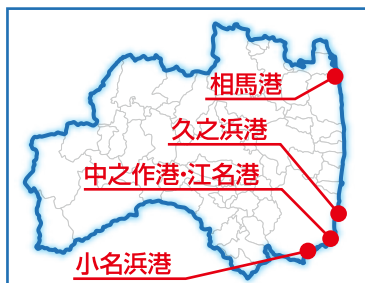


常磐自動車道 4車線化、追加IC等の整備

常磐自動車道のいわき中央IC～広野IC間、山元IC～岩沼IC間の4車線化が、復興・創生期間である令和2年度までの完成を目指し、整備が進められています。
 また、広野IC～山元IC間の付加車線の設置や(仮)小高スマートICも整備中です。
 ならばスマートIC、大熊ICは平成31年3月、常磐双葉ICは令和2年3月に供用となりました。



港湾整備による 地域産業の復興と 国際物流の支援



取扱い貨物量の増加、船舶の大型化等に対応するため、港湾の整備を行います。

港湾の利用状況

相馬港(2号、3号ふ頭)



大型クルーズ船「飛鳥II」寄港(小名浜港3号ふ頭)



相馬港の整備状況

ふ頭用地の造成(4号ふ頭)と
新たに立地した相馬LNG基地



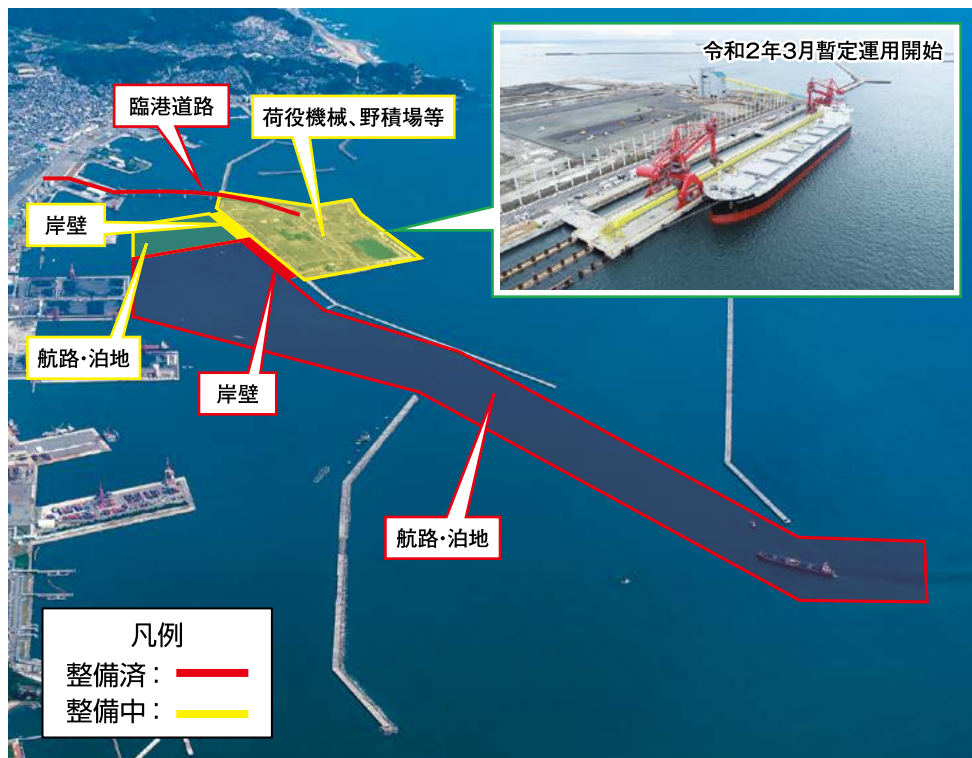
臨港道路の整備(4車線化)



LNGとは、天然ガスを冷却して液化したもので、都市ガスや発電所の燃料として使用されます。相馬 LNG 基地の整備により、仙台・新潟方面への天然ガスの安定供給が可能となります。また、基地に隣接して建設中である火力発電所の燃料としても利用されます。

小名浜港の整備状況

2020年のIGCC本格稼働による石炭貨物の大幅な輸入増加に対応するため、小名浜港東港地区を整備します。



臨港道路(小名浜マリブリッジ)

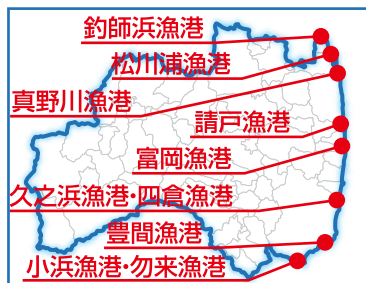


小学生の建設現場見学会



IGCCとは、石炭を高温高圧のガス化炉を用いてガス化し、ガスタービンと蒸気タービンを組み合わせて発電することで、従来の石炭焼き火力発電に比べ、発電効率を向上させ、CO₂排出低減にも寄与する火力発電システムです。

漁港整備による 水産業の復興支援



漁港区域内の海岸を含めた**漁港施設の復旧**は、**令和2年度までの完了**を目指します。

10漁港の完了見通し

	港湾名	完了年度
1	釣師浜漁港	H29年度
2	松川浦漁港	H30年度
3	真野川漁港	H30年度
4	請戸漁港	R2年度
5	富岡漁港	H30年度

	港湾名	完了年度
6	久之浜漁港	H27年度
7	四倉漁港	H30年度
8	豊間漁港	H27年度
9	小浜漁港	H28年度
10	勿来漁港	H26年度

請戸漁港の復旧状況

被災状況(岸壁背後の沈下)



復旧状況(浪江町水産業共同利用施設)



松川浦漁港の復旧状況

被災状況(岸壁崩壊)



復旧状況(岸壁)



水産業の復興

松川浦漁港(水揚げ)



真野川漁港(かしまみなとまつり)



富岡漁港(漁船帰港式)



久之浜漁港(再開後初の朝市)



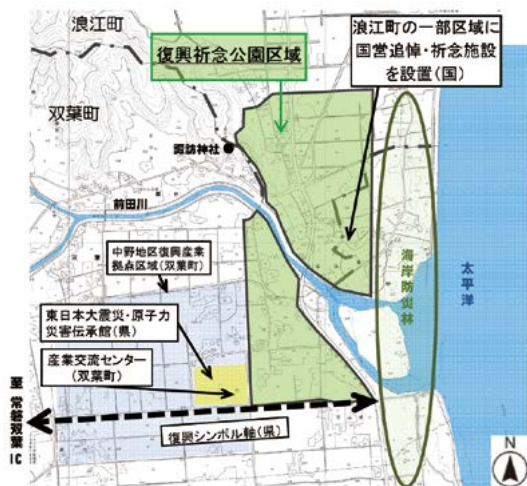
復興祈念公園の整備



取組の目的

東日本大震災の犠牲者への追悼と鎮魂、震災の記憶と教訓の伝承、復興への強い意志の発信等を目的に復興祈念公園を整備します。

公園区域



基本方針(国)

- 国と県が連携し、岩手、宮城、福島の前被災3県に1か所ずつ復興祈念公園を整備します。

国・県の役割

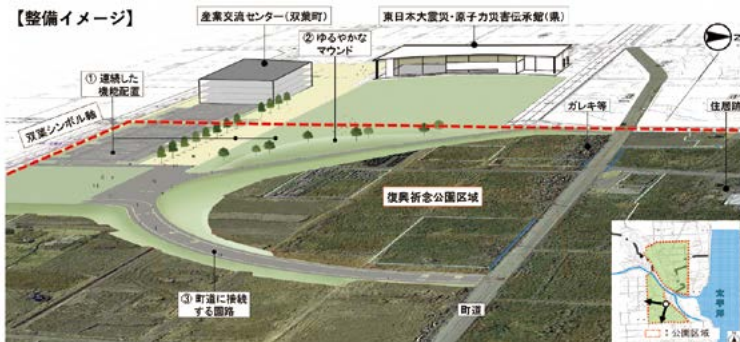
- 県が整備する復興祈念公園内の一部に、国が被災者の追悼・鎮魂等の中核的施設となる丘や広場等を設置します。
(面積は数ha程度)

双葉・浪江両町にまたがるエリア(中野・両竹地区)

一部供用エリアの概要

2020年東京オリンピック・パラリンピックの時期にあわせ、復興祈念公園の一部供用(約2ha)*を目指します。

*東日本大震災・原子力災害伝承館や産業交流センターに隣接する一部区域





震災伝承施設の標章
(ピクトグラム)

震災伝承の取組

取組の目的

東日本大震災及び原子力災害の記憶と教訓を伝承していくとともに、地域の防災力向上や交流を通じた地域活性化を図ります。

震災伝承ネットワーク協議会の取組

- 震災伝承をより効果的・効率的に行うため、国と青森県、岩手県、宮城県、福島県、仙台市で「震災伝承ネットワーク協議会」を組織しています。
- 協議会では、震災伝承施設の募集や登録、震災伝承ツアーの企画支援、各種会議の開催等を行っています。

震災伝承施設

- 震災伝承施設とは、被災地の震災遺構や伝承館、祈念碑や慰霊碑など、東日本大震災から得られた教訓と実情を伝承する施設であり、これまでに被災4県全体で224施設※、県内においては29施設※が登録されています。

※令和2年1月末現在

- 震災伝承施設を通して記憶や経験を後世に伝えることにより、伝承のネットワークを広げ、「3.11伝承ロード」の形成に取り組んでいます。



福島県環境創造センター交流棟
「コミュニティ福島」

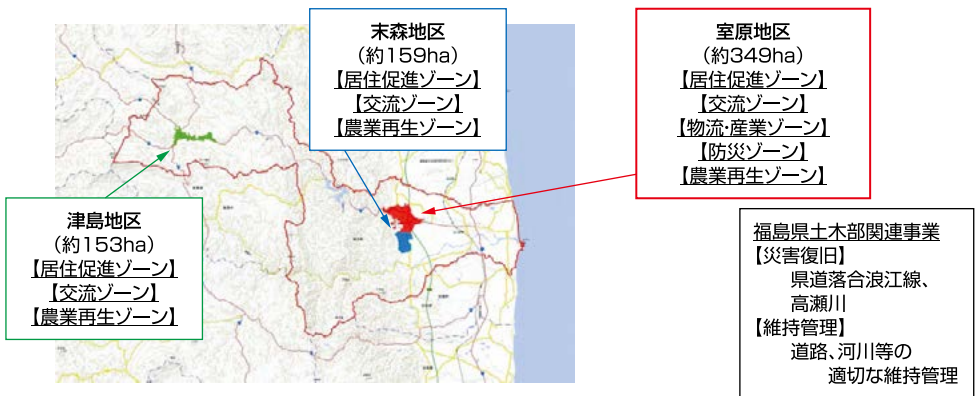


特定復興再生拠点区域

特定復興再生拠点区域は、帰還困難区域のうち、避難指示を解除し、早期に原子力災害からの帰還者等の居住を可能とすることを旨とする区域です。各自治体は、5年後までに特定復興再生拠点区域の避難指示解除を目指し、除染やインフラ整備を進めていきます。

浪江町

計画期間:H29.12.22(認定日)～R5.3



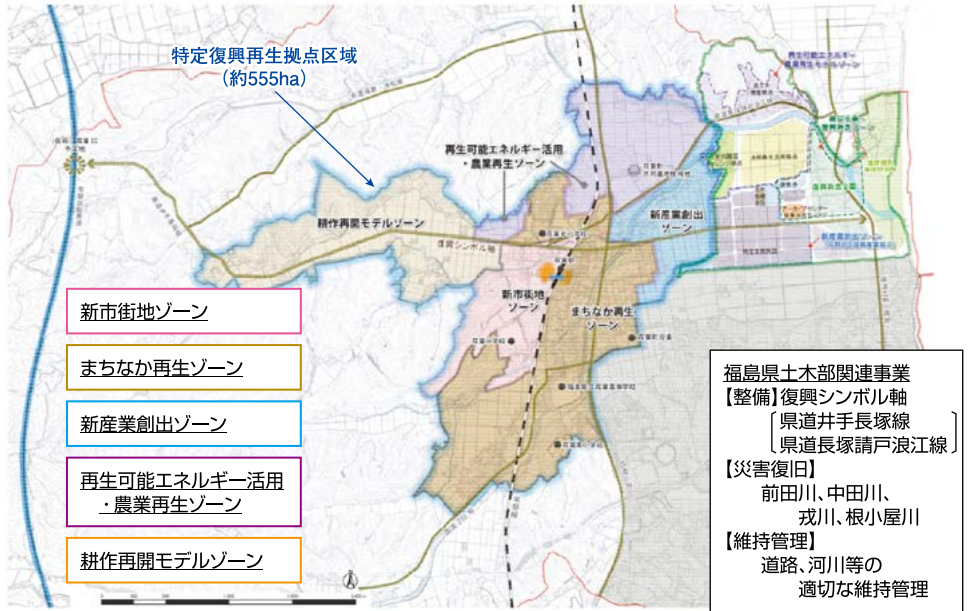
富岡町

計画期間:H30.3.9(認定日)～R5.5.31



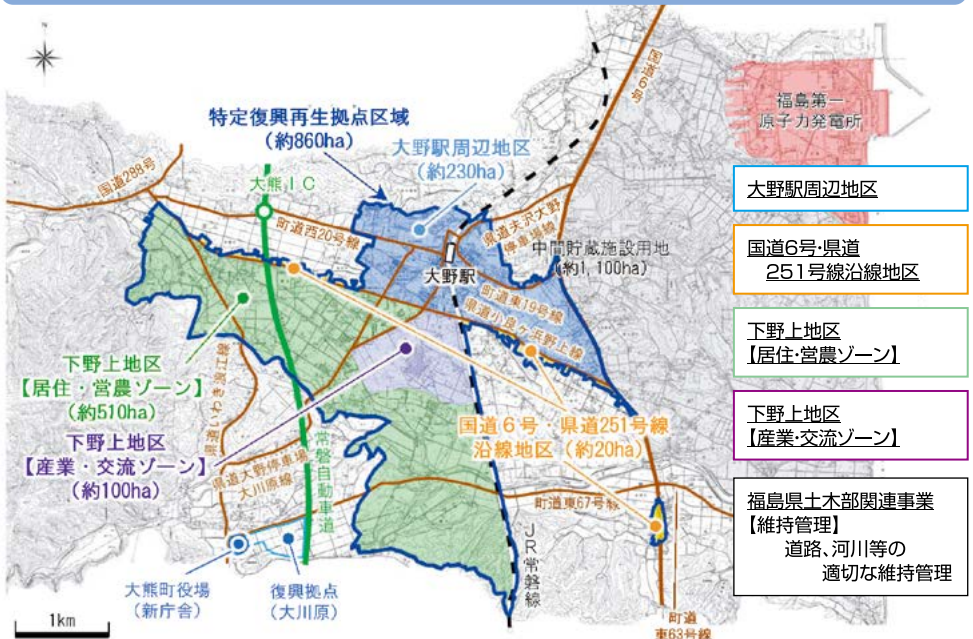
双葉町

計画期間:H29.9.15(認定日)~R4.8.31



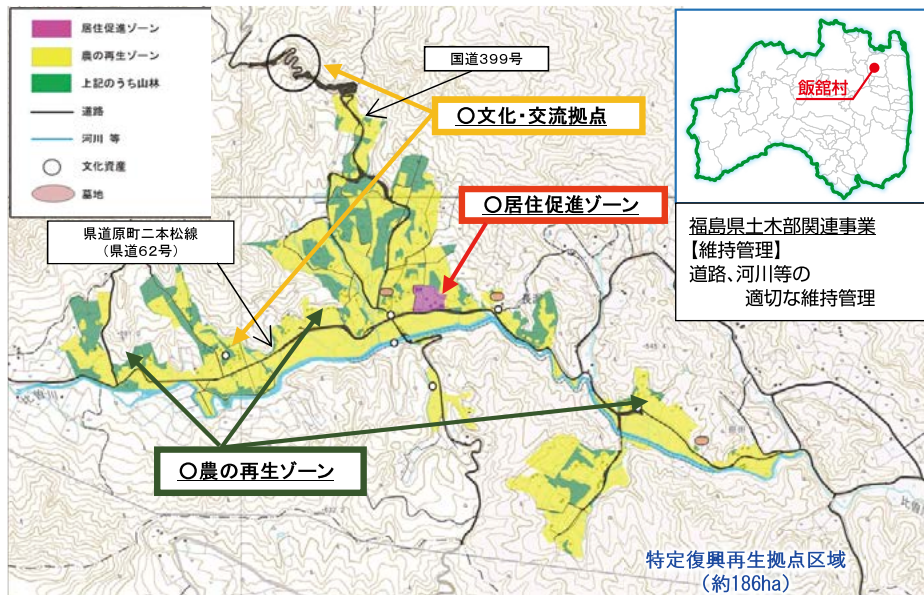
大熊町

計画期間:H29.11.10(認定日)~R4.9



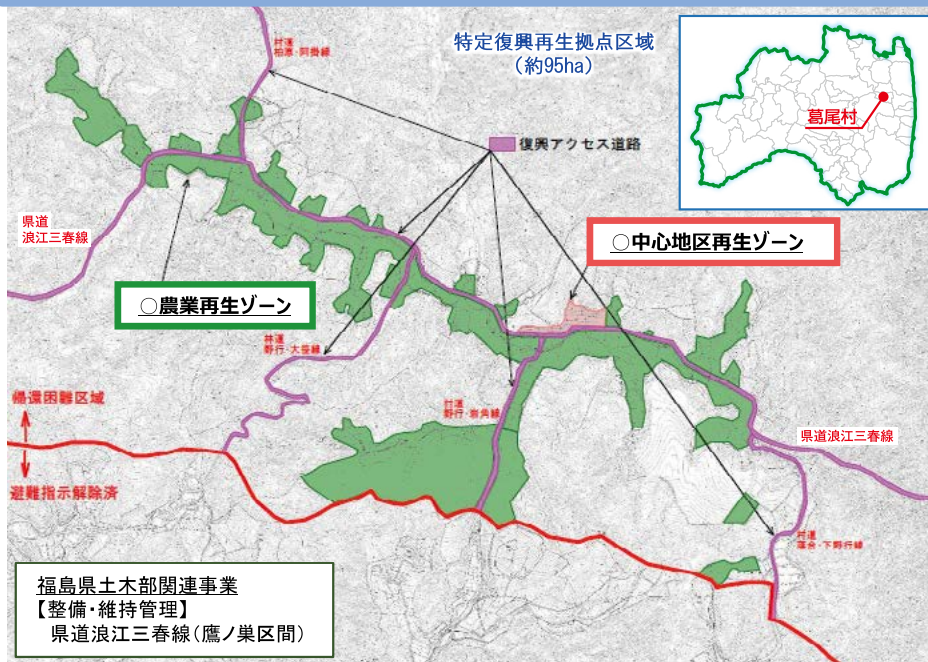
飯館村

計画期間:H30.4.20(認定日)~R5.5.31



葛尾村

計画期間:H30.5.11(認定日)~R4.9



帰還困難区域の一部先行解除

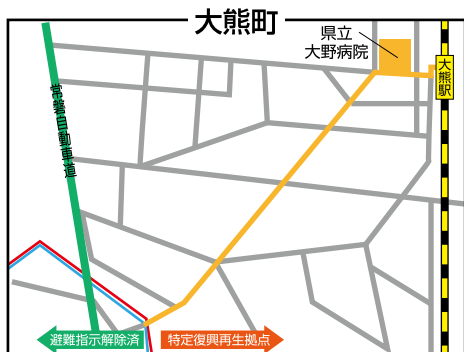
双葉町、大熊町、富岡町の帰還困難区域の一部を先行解除し、帰還への復興加速や住民らの利便性向上を図ります。今後は、特定復興再生拠点区域全域の解除や住民帰還の開始に向け、新たなまちづくりや帰還環境の整備が本格化します。



令和2年3月4日一部先行解除

特定復興再生拠点区域内の一部

- ・ 双葉駅東側一帯と鉄道施設区域
- ・ 町北東部の避難指示解除準備区域
- ・ 駅と同地域を結ぶ町道約1km



令和2年3月5日一部先行解除

特定復興再生拠点区域内の一部

- ・ JR大野駅周辺や県立大野病院を合わせた約4.2ha
- ・ JR大野駅と大川原地区を結ぶアクセス道路となる町道（一部県道（大野停車場大川原線））約2.3km



令和2年3月10日一部先行解除

特定復興再生拠点区域内の一部

- ・ JR夜ノ森駅につながる県道（夜ノ森停車場線）と町道合わせて約1,030m区間
- ・ 鉄道施設区域
- ・ 駅前駐車場

特定復興再生拠点区域の主な事業箇所

復興シンボル軸(県道長塚請戸浪江線)の整備(双葉町)



前田川の災害復旧(双葉町)



福島イノベーション・コースト構想

東日本大震災、原子力災害によって失われた浜通り地域等の産業を回復するため、新たな産業基盤の構築を目指すものです。廃炉やロボット技術、エネルギー関連産業、農林水産等の分野における産業集積や人材育成、交流人口の拡大等に取り組みます。

福島県浜通り
地域等の再生



福島ロボットテストフィールド

南相馬市 浪江町



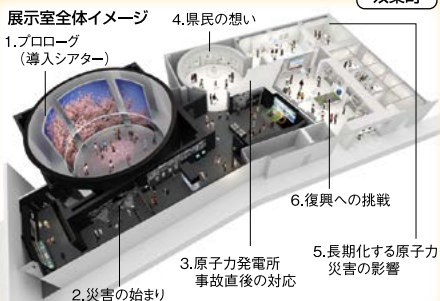
無人航空機、災害対応ロボット、水中探査ロボット等の研究開発、実証実験、性能評価、操縦訓練を行うことができるロボットの一大研究開発拠点です。令和2年3月全面開所。



研究棟
令和元年9月開所

東日本大震災・原子力災害伝承館

双葉町



東日本大震災及び原子力災害の実態と復興への取組を正しく伝え、教訓として国を越え、世代を超えて継承・共有していきます。令和2年7月開所予定。

福島水素エネルギー研究フィールド

浪江町



浪江町(棚塩地区)において、再生可能エネルギーを用いた大規模水素製造、次世代の水素輸送・貯蔵技術の実証に取り組む。令和2年3月運転開始。東京五輪期間中に活用予定。

※土木部関連事業について掲載

県営あづま球場改修工事

東京オリンピック野球・ソフトボール競技の開催に向け、あづま球場を改修しました。

<改修概要>

- ・グラウンドや室内練習場の人工芝化
- ・外野フェンスの衝撃吸収材の改修
- ・トイレの洋式化
- ・シャワー室の改修
- ・車いす席、多目的トイレの増設
- ・車いす用昇降設備の増設
- ・エレベーターの新設 など



大会開催の機運醸成、球場への愛着形成に向けて

「あづま球場をつくろう」等のイベントを開催し、グラウンドの人工芝化作業の一部を地元の高校球児や小学生に参加していただきました。



本県の復旧・復興を応援いただいた派遣職員の皆さま



相双建設事務所
原釜尾浜地区防災緑地(相馬市)



いわき建設事務所
久之浜地区海岸(いわき市)



相馬港湾建設事務所
請戸漁港(浪江町)



県北建設事務所
県道五十沢国見線(国見町)



-  高速道路
-  インターチェンジ
-  スマートインターチェンジ
-  地域高規格道路
-  国道(国管理)
-  国道(県管理)
-  新幹線



福島県土木部

〒960-8670 福島県福島市杉妻町2-16 電話：024-521-7886

メールアドレス：dobokukikaku@pref.fukushima.lg.jp

■福島県公共土木施設 復旧・復興情報ホームページは

『福島県公共土木施設 復旧・復興情報』で検索してください。

福島県復興シンボルキャラクター
「ふくしまからはじめよう。キビタン」

承認を得て複製している国土地理院発行の電子地形図(タイル)をさらに複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

2020年3月31日

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。